

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3425
事務事業名	4182 金融対策事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	15032500 商業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	020000 金融対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
中小企業者に対し、経営上必要とする資金の融資あっせん、金融保証料及び利子補給を行うことにより、中小企業の振興を図る。						新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた事業者をはじめ、中小・小規模企業者の皆様の資金繰りを支援するため、継続して金融保証料及び利子補給を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
制度資金 融資あっせん（市:件数130件、融資金額1,451,057千円、県:件数18件、融資金額623,600千円）、 利子及び保証料補給金（市:件数214件、融資金額72,466,138千円、県:件数18件、融資金額11,320千円）	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給

指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		1,086,468	1,042,888
特定財源	国庫支出金	83,786	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,000,000	1,000,000
一般財源		2,682	42,888
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,271.2	6,271.2
	嘱託職員	629.8	629.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,901.0	6,901.0
市民一人当たりの経費		20.9	20.1
総額		1,093,369.0	1,049,789.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	33	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	83,787	金融保証料及び利子補給金
その他	1,002,648	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,256 会計年度任用職員社会保険料344 郵便料58

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	100	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	40,000	金融保証料及び利子補給金
その他	1,002,788	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,312 会計年度任用職員社会保険料344 郵便料58

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<p>中小企業の円滑な資金調達に必要な不可欠な制度であり、今後の経済・社会情勢の動向や、国・県の中小企業支援の状況を的確にとらえ、資金需要に柔軟に対応していく。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小企業者等が経営継続できるよう支援を行う。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<p>中小企業の資金調達について、中小企業の負担軽減策として助成制度は必要であり、資金調達ができないことで事業を縮小せざるを得ない状況となることは、地域経済の停滞につながってしまう。 経営の安定に支障を来している中小企業者の資金繰りを支援するためにも、低利な融資及び保証料負担や利子補給は有効である。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の状況を的確に判断し、各種団体や金融機関とも連携し、必要な経済支援策として、いち早く融資制度を創設し支援を行った。</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナウイルス感染症対策の影響で資金需要の高まりもあり、今まで以上に商工会議所や金融機関等と連携し、企業の資金需要に迅速かつ柔軟に対応出来るよう、状況把握に努め、資金需要に対応した制度の見直し及び運用に努め、制度を有効活用していただいた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域経済の発展はもとより、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けている中小企業者への資金繰りに対する支援は必要不可欠であり、経営基盤を安定させるためにも本事業は有効な施策の一つである。		中小企業者が安定して経営を行うための支援策として、重要であり必要不可欠な施策である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	